

事務事業名 フラワーファンタジーロード事業補助金

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	1	魅力ある観光地づくり
小分類	1	ときめきと感動のある観光地づくり
主要な施策	2	観光客のニーズに即応できる受入体制の充実
事務事業番号	009	事業開始年度 平成 23 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	観光室観光振興グループ
-----	-------	-------	-------------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	主要道路の緑化風景を創出し、花観光を推進する観光地としてのイメージの向上を図り、誘客を図る。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	道道洞爺湖登別線の中央分離帯や植樹帯への草花の植栽や、除草等の維持管理を行う登別市観光ホスピタリティ推進協議会へ事業費の一部を補助し美しい景観保持に努める。
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	一般国道36号から登別温泉への主要道路である道道洞爺湖登別線の植樹帯に草花を植栽することで、年間を通して景観を高め観光地としてのイメージ向上を図る。また、美しい景観を通じたおもてなしの心を演出することで、観光客の誘客を推進する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円		650	650	650	650
事業費 合計			0	650	650	650	650

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	観光客入込客数	千人	目標値	3,100	3,100	3,100	3,100	3,100
			実績値	3,042	2,661			
	宿泊客延べ数	千人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,164	1,058			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
<p>現在、土壌の関係上1年草を植栽しているが、宿根草の植栽を再度検討することで、コスト等の削減を研究している。</p>	<p>引き続き宿根草の植栽を行う。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）			《Check》
1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	→	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 観光客へのホスピタリティにつながる事業のため、引き続き市が補助することが妥当である。
	→	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	→	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	→	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	→	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 草花の植栽は観光地としてのイメージの向上につながる。
	→	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	→	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	→	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	→	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 現在、1年草を植栽しているが、宿根草の植栽を再度検討することで、コスト等の削減を研究している。
	→	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	→	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	→	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	→	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 観光地としてのイメージの向上につながっていると考える。
	→	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	→	目に見える形で成果があがっている	
	→	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価		《Check》
維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠) 登別に観光客を誘致するおもてなし策として、当該活動は必要不可欠であるため、現状を維持することとしたい。	

行政評価会議による評価		《Check》
維持	備考	